

「ルールを守ることが命を守ること」を再認識

5月21日（木）に交通安全教室を行いました。今回は、森警察署とJA共済連、そして有限会社シャドウスタントプロダクションの皆様にご協力をいただき、スタントマンの実演による交通安全指導が行われました。

スマホを操作しながらの自転車走行や、大型車による巻き込みなど、想定される様々な状況での衝突事故が再現され、生徒はその都度、真剣な表情でそれぞれの場面を見入っていました。特に、時速40キロの自動車に自転車跳ねられるシーンでは激しい音と事故の衝撃に思わず声が洩れました。

今年度から青キップという「交通反則通告制度」において16歳以上が対象となり、生徒はより「自分事」として自転車事故の危険性を感じている様子でした。最後には本校生徒会長の中坂飛龍君から、「交通ルールを遵守して他人に迷惑をかけない自転車の安全利用に努めます」と生徒を代表しての宣言が力強くなされました。

今回の講習で何度も繰り返されていた「ルールを守ることが自分や大切な人の命を守ることにつながる」という言葉をしっかり胸に刻み、「誰一人として交通事故に遭わない安心安全な森高校」を実現していきたいと思います。

今回、生徒に貴重な学びの機会をいただいた森警察署をはじめとする関係者の皆様、また当日会場を提供いただいた森中学校の皆様に厚くお礼申し上げます。



森高校 HP



森高校 Instagram



森高校 note



事故の再現を真剣な表情で見つめる森高生



スタントマンによる実演の様子

<参加した感想> 2年 千葉 仁子

ヘルメットの装着は、時には生死を分ける大切な行為であるとわかりました。スタントマンの皆さんが身体を張って自転車や自動車との衝突シーンを再現していただいたおかげで、遅いと感じる速度でも十分、人の命を奪う危険性があることがわかりました。自転車で走行する時はヘルメットを着装し周りをよく見て行動したいと思いました。

8月26日は
火山防災の日



←火山防災の日
特設サイト